

## 平成26年度水資源功績者表彰受賞者と功績概要

[個人]・・・2名

受賞者	功績概要
<small>やまだ とみお</small> 山田 登美夫 (神奈川県)	宮ヶ瀬ダムを活用した都市地域住民との交流事業に継続的に取り組み、地域活性化にも積極的に携わってきた。さらに、郷土資料館をあいかわ公園と一体整備するなど、宮ヶ瀬ダムと周辺施設が一体となった観光地づくりを進める上で貢献を果たした。
<small>かたふち ひろあき</small> 片瀨 弘晃 (佐賀県)	地盤沈下の著しい白石平野の地下水依存から嘉瀬川ダムによる表流水への水源転換に多大な尽力をされてきた。また、嘉瀬川ダムの建設に協力し、上下流交流のほか、水源地域のハード・ソフト面の支援を推進した。

[団体]・・・7団体

受賞者	功績概要
<small>わ が かわ せいらゆう まも</small> 和賀川の清流を守る会 (岩手県)	和賀川流域である北上市・西和賀町の住民をはじめ、地元企業や行政機関など様々な団体から参加者があつまり、河川パトロール及び清掃活動、和賀川流域の自然探索会、地域の親水美化活動への支援を実施し、流域環境に対する意識高揚に多大な貢献をしている。
<small>こおりやま しりつ こなんしやう</small> 郡山市立湖南小・中学校 (福島県)	猪苗代湖の湖岸清掃や水質調査等を実施し、水生生物の環境整備に努めるとともに、地元の環境フォーラム等で活動発表するなど水環境整備の普及啓発活動に貢献している。
<small>あぶくまがわ</small> 阿武隈川サミット実行委員会 (福島県)	阿武隈川流域の福島・宮城県の22市町村が一体となり、流域の交流・連携により水資源の保全に貢献し、地域の文化・教育・上下流交流連携などの面で大きな成果を上げている。

受賞者	功績概要
<small>かわねほんちよう</small> 川根本町エコツーリズムネットワーク (静岡県)	川根本町の自然・歴史・暮らし等を題材とした体験プログラムを実施することにより、水源地域である同町の活性化や他市町住民との交流の活発化に貢献している。
<small>あいちようすいとちかいりよう</small> 愛知用水土地改良区 (愛知県)	牧尾ダムを水源とする愛知用水事業の実現に向け尽力し、通水後50年以上にわたり、農業用水の適正な管理のため、水の重要性等の普及に努めている。また、水源地域の植樹活動や出前授業、水源地交流事業の開催など、水源地域の保全及びその啓発に貢献している。
<small>とくていひえいりかつどうほうじん</small> 特定非営利活動法人 おとくにパオ (京都府)	長岡京市域の4割を占める西山での活動を通じて、次世代を担う子どもたちに、自然環境の変化と資源の有限性に目を向けさせ、当たり前に使っている水が自然の中で育まれた貴重な資源であることを伝える取組みを積極的に行っている。
<small>しみずめぐまもかい</small> 清水の恵みを守る会 (鳥取県)	明治42年、清水を利用した初めての水道が、住民の力で敷設され、湧水を守る清掃活動を約100年以上継続している。また、この清水を通した環境教育を実施するなど、地域の環境教育としての役割も大きい。